

平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名 カルナバイオサイエンス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4572 URL <http://www.carnabio.com>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉野公一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)相川 法男 TEL 078-302-7075
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績 (平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	341	33.1	△169	—	△147	—	△151	—
24年12月期第2四半期	256	△17.9	△236	—	△218	—	△224	—

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 △121百万円(—%) 24年12月期第2四半期 △227百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年12月期第2四半期	△2,065	92	—	—
24年12月期第2四半期	△3,825	77	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	1,155	—	923	—	78.4	—
24年12月期	1,116	—	880	—	78.9	—

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 906百万円 24年12月期 880百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
24年12月期	—	0 00	—	0 00	0 00
25年12月期	—	0 00	—	0 00	0 00
25年12月期(予想)	—	0 00	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想 (平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,155	126.1	4	—	28	—	23	—	316	20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期2Q	74,495株	24年12月期	72,800株
25年12月期2Q	—株	24年12月期	—株
25年12月期2Q	73,100株	24年12月期2Q	58,710株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国経済が緩やかな回復基調で推移するとともに、わが国政府と日銀が協調した金融緩和政策の影響等により為替相場が円安方向へ転換したこと等により、一部に回復の兆しが見られるものの、中国経済の悪化懸念が強まるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。当社グループが属する製薬業界におきましては、医療制度改革やジェネリック医薬品への代替が着実に進行するなか、大手製薬企業における収益悪化の懸念が、新薬候補パイプラインの導入ステージの早期化やバイオベンチャー等の買収となって現れており、新薬を開発する大手製薬企業においてオープンノベーションの流れは今後も加速するものと考えられます。

このような外部環境の中、当社グループは、キナーゼ創薬に係る創薬基盤技術を核とした創薬支援事業並びに創薬事業を積極的に展開し、事業の拡大を図ってまいりました。

セグメント別には、創薬支援事業におきましては、その主要市場である北米における売上拡大に注力するとともに、小野薬品工業株式会社から受託した大規模キナーゼスクリーニングを着実に遂行すること等により、売上は順調に推移しております。また、創薬事業におきましては、重点領域であるガン疾患を中心としたキナーゼ阻害薬の創製研究を積極的に推進するとともに、当社研究テーマの導出活動を戦略的に展開してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は341百万円（前年同四半期比33.1%増）、営業損失は169百万円（前年同四半期は236百万円の損失）、経常損失147百万円（前年同四半期は218百万円の損失）、四半期純損失151百万円（前年同四半期は224百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

①創薬支援事業

キナーゼタンパク質の販売、アッセイ開発、プロファイリング・スクリーニングサービス及びセルベース・アッセイの提供等により、創薬支援事業の売上高は341百万円（前年同四半期比33.1%増）、営業利益は101百万円（前年同四半期比668.1%増）となりました。売上高の内訳は、国内売上は195百万円（前年同四半期比22.8%増）、北米地域は85百万円（前年同四半期比54.3%増）、欧州地域は54百万円（前年同四半期比64.2%増）、その他地域は5百万円（前年同四半期比32.1%減）であります。

②創薬事業

当第2四半期連結累計期間の創薬事業において、売上高の計上はなく（前年同四半期は売上高の計上なし）、営業損失は271百万円（前年同四半期は249百万円の損失）となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

	前連結会計年度末	当第2四半期 連結会計年度末	増減
総資産（百万円）	1,116	1,155	39
純資産（百万円）	880	923	42
自己資本比率（%）	78.9	78.4	△0.5

①資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,155百万円となり、前連結会計年度末と比べて39百万円増加しました。その内訳は、現金及び預金の増加11百万円、売掛金の減少5百万円、投資有価

証券の増加37百万円等であります。

②負債の状況

負債は232百万円となり、前連結会計年度末と比べて3百万円減少しました。その内訳は、1年内返済予定の長期借入金の減少17百万円、長期借入金の減少9百万円、繰延税金負債の増加13百万円等によるものであります。

③純資産の状況

純資産は923百万円となり、前連結会計年度末と比べて42百万円増加しました。その内訳は四半期純損失151百万円の計上、資本金の増加78百万円、資本剰余金の増加68百万円、その他有価証券評価差額金の増加24百万円等によるものであります。

④その他の状況

自己資本比率は78.4%（前連結会計年度末は78.9%）となりました。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月8日に公表いたしました平成25年12月期の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社における貯蔵品の評価方法は、従来、総平均法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より、先入先出法に変更しております。この変更は、仕入価格の変動を損益に適時に反映させることと会計業務の効率化を目的として、受注拡大に伴う受託試験サービスにおける貯蔵品の使用量の増加を契機に、行ったものであります。

なお、この変更による損益への影響は軽微であり、遡及適用は行っておりません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、継続して営業損失及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況（重要事象等）が存在しております。

当該重要事象等を解消するために、当社グループは、創薬支援事業においては更に拡販に努めることで売上の上積みを図るとともに、創薬事業においては研究開発をさらに推し進め、新薬候補化合物を製薬企業等に導出することで契約一時金等の収入を獲得してまいります。さらに、研究開発の効率化及び諸経費の節減等により販売費及び一般管理費の圧縮に継続的に取り組んでまいります。

以上により、早期の全社業績の黒字化を達成し、当該重要事象等が早期に解消されるよう取り組んでまいります。

なお、当社グループは事業活動を継続するための十分な手元資金を保有しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	654,993	666,184
売掛金	85,421	80,261
商品及び製品	98,676	101,925
仕掛品	3,221	11,928
原材料及び貯蔵品	13,404	19,735
その他	57,438	45,886
流動資産合計	913,157	925,922
固定資産		
有形固定資産	53,672	46,739
無形固定資産	9,184	6,576
投資その他の資産		
投資有価証券	121,070	158,578
その他	19,808	18,143
投資その他の資産合計	140,878	176,722
固定資産合計	203,736	230,037
資産合計	1,116,893	1,155,959
負債の部		
流動負債		
買掛金	825	178
1年内返済予定の長期借入金	36,666	19,416
未払金	35,604	44,042
未払法人税等	5,892	4,747
その他	30,506	33,995
流動負債合計	109,494	102,379
固定負債		
長期借入金	97,474	87,766
繰延税金負債	5,407	18,558
資産除去債務	23,724	23,960
固定負債合計	126,606	130,285
負債合計	236,101	232,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,270,759	2,349,185
資本剰余金	818,213	886,830
利益剰余金	△2,207,020	△2,358,039
株主資本合計	881,951	877,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,877	26,939
為替換算調整勘定	△4,036	1,245
その他の包括利益累計額合計	△1,159	28,185
新株予約権	—	17,132
純資産合計	880,792	923,294
負債純資産合計	1,116,893	1,155,959

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	256,591	341,581
売上原価	105,452	108,751
売上総利益	151,139	232,830
販売費及び一般管理費	387,332	402,490
営業損失(△)	△236,193	△169,660
営業外収益		
受取利息	339	103
補助金収入	19,000	26,349
為替差益	—	6,555
その他	656	514
営業外収益合計	19,995	33,521
営業外費用		
支払利息	1,503	871
新株予約権発行費	—	9,355
為替差損	215	—
その他	406	1,118
営業外費用合計	2,126	11,345
経常損失(△)	△218,323	△147,483
特別損失		
固定資産除却損	148	123
減損損失	5,124	2,384
特別損失合計	5,272	2,508
税金等調整前四半期純損失(△)	△223,595	△149,991
法人税、住民税及び事業税	1,172	1,172
法人税等調整額	△157	△145
法人税等合計	1,014	1,026
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△224,610	△151,018
四半期純損失(△)	△224,610	△151,018

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△224,610	△151,018
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,565	24,062
為替換算調整勘定	1,388	5,282
その他の包括利益合計	△3,177	29,344
四半期包括利益	△227,788	△121,673
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△227,788	△121,673

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△223,595	△149,991
減価償却費	17,305	13,612
減損損失	5,124	2,384
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	—
受取利息	△339	△103
支払利息	1,503	871
補助金収入	△19,000	△26,349
新株予約権発行費	—	9,355
為替差損益(△は益)	△483	△5,321
売上債権の増減額(△は増加)	8,466	7,419
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,878	△17,243
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,158	△647
未払金の増減額(△は減少)	7,345	4,455
その他	△1,542	25,976
小計	△218,247	△135,580
利息の受取額	383	101
利息の支払額	△1,454	△828
補助金の受取額	14,745	17,302
法人税等の支払額	△2,426	△2,373
法人税等の還付額	143	128
その他	250	250
営業活動によるキャッシュ・フロー	△206,605	△121,001
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△33,849	△7,178
無形固定資産の取得による支出	△3,510	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,360	△7,178
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△34,608	△26,958
担保に供した預金の増減額(△は増加)	27,000	43,000
新株予約権の発行による収入	—	14,060
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	145,395
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,608	175,498
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,179	6,872
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△250,394	54,190
現金及び現金同等物の期首残高	831,634	611,993
現金及び現金同等物の四半期末残高	581,240	666,184

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	創薬支援事業	創薬事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	256,591	—	256,591
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	256,591	—	256,591
セグメント利益又は損失(△)	13,244	△249,438	△236,193

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しており差額はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、「創薬事業」に係る減損損失5,124千円を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	創薬支援事業	創薬事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	341,581	—	341,581
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	341,581	—	341,581
セグメント利益又は損失(△)	101,728	△271,388	△169,660

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しており差額はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、「創薬事業」に係る減損損失2,384千円を計上しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

新株予約権の権利行使により、当第2四半期連結会計期間において、資本金が78,426千円、資本剰余金が68,617千円増加し、この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,349,185千円、資本剰余金が886,830千円となっております。

(7) 重要な後発事象

当第2四半期連結会計期間終了後、平成25年7月31日までの間に新株予約権の権利行使がありました
が、その概要は以下のとおりであります。

(1) 新株予約権の名称	第14回新株予約権
(2) 発行株式の種類及び株式数	普通株式 5,349株
(3) 増加した資本金	253,542千円
(4) 増加した資本剰余金	253,542千円